

市政レポート第1号

市政を刷新し清潔な堺市政を取り戻す市民1000人委員会編『市政レポート第1号』が送られてきた。10月14日、堺市産業振興センターのセミナー室に192名が参加して開催された「市政チェック学習会」の講演・報告、討論、アンケートなどをきっちりとまとめたものだ。学習会から3週間余りで、ビジュアルな冊子が届いたことに正直驚いた。さすが「たたかう堺市民」である。表紙の写真には、私の頭らしきものも写っている。

学習会を思い出しながら、レポートを読みすすんだ。大阪市民にも参考になる点を抜粋して紹介したい。

市民1000人委員会の活動継続の方向として、2019市長選を通じて私たちが訴えたことを、今後も引き続き追求していく。市民が勝ち取ってきた様々な成果を守り、さらに発展させていく。具体的には、おでかけ応援制度（おでかけ応援タクシーへの拡充）、政令市NO.1の教育予算実現などを掲げる。



・上記施策を発展・拡充させるためにも、政令市を廃止し特別区に転落させる「都構想」はNO!

・新市政による市民サービスの低下や公共サービスの民営化を許さない、そのための市政監視を続けていく。新市政が何を行おうとしているのかの情報収集に務め、その情報の分析・解明を行い、それをふまえた市民活動を行うとともに、市民向けの情報発信を行う。

・そのためにも、野村友昭さん、チーム堺、住みよい堺市をつくる会と固く連携していくとともに、市政監視のプロフェッショナルである市議会議員からの力添えをあおぐ。

・来年秋から冬にも予想される大阪市廃止・解体（「都構想」）住民投票に対しては、堺市民として反対キャンペーン運動に積極的に関わる。万が一、大阪市の廃止・解体が決まるようなことがあれば、次には堺市廃止・特別区転落が打ち出されてくることに身構える。

・4年後の市政奪還をめざす。野村友昭さんをそのリーダーとして押し立てていく。

・各区での1000人委員会の取り組みを行う。

この基本的方向は、大阪市民にとっても示唆に富むことが多い。大阪市廃止・解体の住民投票について、あつい応援エールをもらい、こんなに嬉しいことはない。堺の市民1000人委員会の活動にも学びながら、なんとしても大阪市廃止の策動を阻止したい。

(2019年11月13日)